



尼崎市立武庫中学校

学校だより 平成25年11月特別号

校訓 友愛 正義 自主 創造 健康

人生には、満塁ホームランはいらない。ゴロやバントをねらえ！

校長 高橋 利浩

生徒の皆さんへ 11月25日(月)朝礼より

今日は、マクドナルドの話をする。マクドナルドは、君たちもよく知っていて、ほとんどの人が行ったことがあると思います。今日は、その日本マクドナルドの創業者 藤田 田(ふじた でん)氏の話をする。

彼の言葉に、「人生には、満塁ホームランはいらない。ゴロやバントをねらえ。」日本マクドナルド創業者藤田田(でん)の言葉。この言葉は、短時間に大きいことをやろうとあせるよりも、時間をかけて大きいことをやろう。という意味だと思います。

藤田氏は、不況化の中次々に対策を打ち出して苦境から打開させた。地道な経営努力が大きな利益につながるといつてきた。このことが、今のマクドナルドを作ってきました。

そこで、今の君たちの生活に置き換えると、一番大事なものは、1時間1時間の授業を大切に、しっかり集中して勉強することです。この当たり前前の方が、当たり前前にできる人が必ずいい結果になります。これから、3年生にとっては、進路という大事な時期にかかってきます。自分の将来を見つめ、1日1日を悔いのないよう頑張ってください。

保護者・地域の皆さんへ 11月21日(木)新聞より

尼崎市で放火を繰り返していたとして、県警少年捜査課などが中学生を逮捕したという新聞報道等で本校の校門が映されていましたが、逮捕されたのは、武庫中学校の生徒ではありません。誤解されているという情報が入りましたので、ご報告しておきます。

今、本校では生徒会中心に気仙沼市への募金活動、また、本校が伝統的に行っているシエラレオネへの支援のための廃品回収の収益の半分を被災地への支援にあてています。そして、11月29日(金)生徒会主催で本校生徒による「街頭奉仕活動」

を行います。特に、「自分たちの町は自分たちできれいにしよう！」ということを目的で、校区内の清掃活動を行います。また、授業態度をよくしていこうと「チャイム着席」運動も行っております。

この度は、新聞報道等で大変ご心配をおかけしましたが、武庫中学校の生徒たちは、自分たちの行動に誇りを持って、日々勉強に部活動に頑張っております。これからも保護者・地域の皆様の温かいご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

社会力育成講演会より 11月15日(金) 11月16日(土)神戸新聞より

宮城県気仙沼市より村上徹也氏(宮城県気仙沼市立鹿折中学校 前校長)が来ていただき、「震災を通して命の大切さを学ぶ」という演題で全校生徒・職員・保護者・地域の方対象に行われました。この講演会の前に「武庫中学校の被災地支援の取り組みと今後」について生徒会から報告がありました。2011年から気仙沼市立鹿折中学校などと交流を行い、毎月11日(募金day is 11th!!)には、武庫之荘駅前募金活動を行い、これまでに100万円を被災地に送りました。今後も生徒会中心に続けるつもりです。講演会の中で、津波に半数の家庭が流された中学生が、今も必死に頑張っている生活しています。村上先生が、その中でも癒されたのは、生徒、同僚の先生たち、みんなの「笑顔」です。と振り返っていました。東日本大震災翌日(3月12日)の朝刊に、「人は弱い。弱いから支え合わなければいけない。」という文章がありました。(朝日新聞「天声人語」)。日本が、大震災による危機から立ち直るために、「ともに」生きる者同士がしっかりと支え合うこと。それは、これからもずっと私たちに求め続けることだと思います。

そして、遠い地にいるわれわれができることは、

- 1 被災した人のことを忘れず、今できることを一生懸命に頑張る。
- 2 あたり前の生活が、あたり前にできることに感謝する。
- 3 『ともに』生きるもの同志が支え合う。人は、弱い。弱いから支え合う。このことが、『ともに』生きるもの同志ができる支援ではないか。と思います。今も頑張っている東北の中学生に負けずに、君たちも頑張りましょう！

